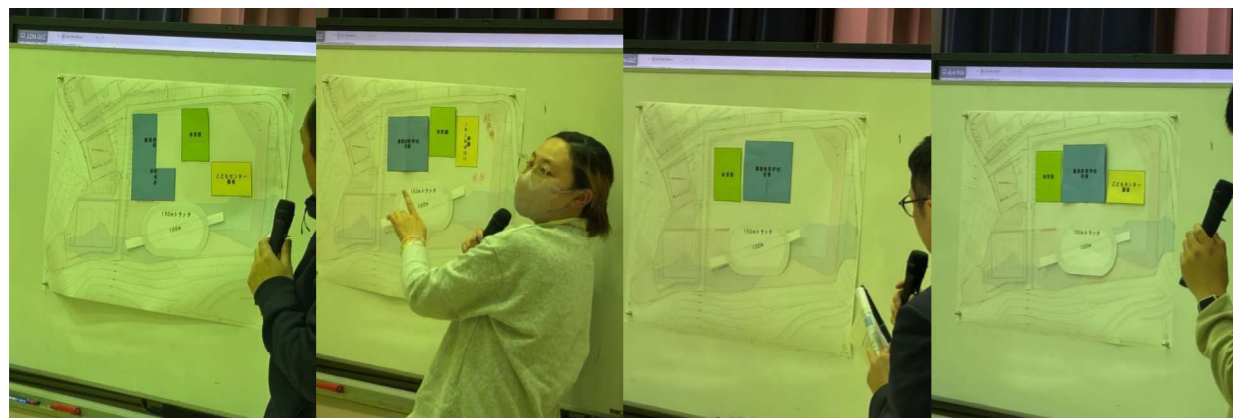


令和7年度 第6回鮫川村義務教育学校等施設建設プロジェクトチーム会議
及び第5回 鮫川村幼保小中教育連携協議会を終えて

上記会合を3/10（火）及び3/25（水）の2日にわたって行いました。前者におきましては、業務の概要と敷地特性を考慮した配置計画の可能性を示し、最後におおよその方針を確認しました。また後者会合におきましては、プロジェクトチームで説明した5案とプロジェクトチームから提案のあった2案を加えた7案の説明を行い、その後ワークショップ発表を経てその方向性を探ってきた所です。その中で課題として明らかになったのはこどもセンターの配置についてです。こどもセンターの配置位置によって計画の内容が左右されることは間違いのないところですが、現状その配置をするしないを検討している中では業務の遂行が大幅に遅延してしまいます。以上により連携協議会の4グループの発表にあった配置計画をベースに検討を進めてまいります。

2つの方向性があると思われまます。
①A、Bグループの発表にありました西側から校舎→体育館→こどもセンター
②C、Dグループの発表にありました西側から体育館→校舎→こどもセンター
この2案をベースに内部の検討をし、比較表を作成しながらまた両会を開催し決定案を決めるというプロセスを経たいと思います。

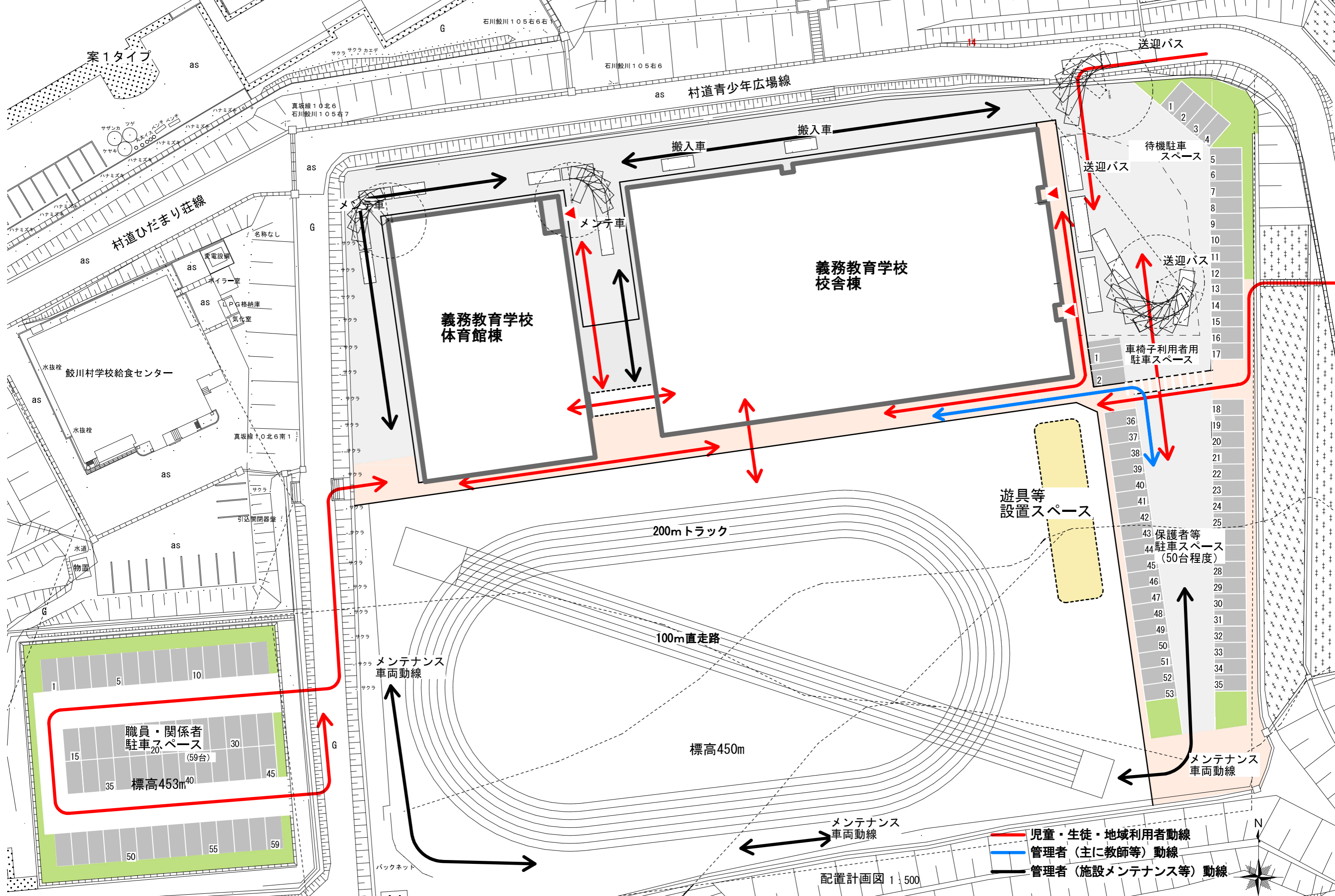


Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ
候補配置案① 候補配置案②

候補案①、②それぞれ検討を行い、次回のプロジェクトチーム会議、連携協議会で意見をいただきながらさらに検討を進める。

※こどもセンターにおいては、配置位置を確保しながら今後の協議の状況による。 以上

計画案	A案 (体育館：西・こどもセンター2階建て)	B案 (体育館：西・こどもセンター2階建て同一棟)	C案 (体育館：東・こどもセンター平屋)	D案 (体育館：西・こどもセンター平屋同一棟)
配置計画				
特徴	体育館は西側に配置。校舎は敷地の中央北側に配置。こどもセンターは2階建てで東側に配置（校舎とは別棟）	体育館は西側に配置。校舎は敷地の中央北側に配置。こどもセンターは2階建てで東側に配置。（校舎とは同一棟）	体育館は東側に配置。校舎は敷地の中央北側に配置。こどもセンターは平屋建てで東側に配置。（校舎とは別棟）	体育館は東側に配置。校舎は敷地の西側に配置。こどもセンターは平屋建てで東側に配置。（校舎とは同一棟）
土砂災害危険区域に対する比較	全ての建物が土砂災害危険区域外となっている。 評価 ○	全ての建物が土砂災害危険区域外となっている。 評価 ○	全ての建物が土砂災害危険区域外となっている。 評価 ○	全ての建物が土砂災害危険区域外となっている。 評価 ○
地盤特性上の比較	重量施設（体育館、校舎）がエリア1、2で有利。軽量施設（こどもC）は不利地盤エリア3に建設。かつ2階建てで荷重増。 評価 △	重量施設（体育館、校舎）がエリア1、2で有利。軽量施設（こどもC）は不利地盤エリア3、かつ2階建てで建設するためさらに不利。 評価 △	重量施設（体育館、校舎）がエリア1、2で有利。軽量施設（こどもC）は不利地盤エリア3、4に建設。（平屋建てのためA、B案に有利） 評価 ○	重量施設（体育館、校舎）がエリア1、2で有利。軽量施設（こどもC）は不利地盤エリア3に建設。平屋建てであるため有利。 評価 ○
法規上（消防法）の比較	各棟は別棟であるため消防法の適用（特にスプリンクラー）の設置は不要。 評価 ○	校舎とこどもセンターは同一棟のため消防法（スプリンクラー）の設置が必要。 評価 △	各棟は別棟であるため消防法の適用（特にスプリンクラー）の設置は不要。 評価 ○	校舎とこどもCは同一棟のため消防法（スプリンクラー）の設置が必要。 評価 △
配置計画に対して比較①（体育館の位置）	西側配置のため、施設側への日影の影響はない。長軸は南北ではあるが、西側隣地への影響は発生。 評価 △	西側配置のため、施設側への日影の影響はない。長軸は南北ではあるが、西側隣地への影響は発生。 評価 △	北側配置のため、施設側への日影の影響はない。長軸は東西ではあるため、北側道路への影響が発生。校舎棟、こどもCからの利用が容易。 評価 △	北側配置のため、施設側への日影の影響はない。長軸は東西ではあるため、北側道路への影響が発生。校舎棟、こどもCからの利用が容易。 評価 △
配置計画に対して比較②（こどもセンターの位置）	東側に配置することで駐車場の確保が容易。ただ2階建てのため、地盤への影響が大きい。（基礎が過大になる。） 評価 △	東側に配置することで駐車場の確保が容易。平屋建てのため、地盤に対して有利である。 評価 ○	東側に配置。平屋建てではあるがエリア6にも一部配置することで基礎形状が変わる可能性が有利である。 評価 △	東側に配置。平屋建てではあるが施設形状が東西に長くなり、駐車スペースの配置で不利となる。（スペースが狭い） 評価 △
配置平面計画に対して比較（義務教育学校）	正方形に近い形状だが、別棟での建設のため中庭等を設置することで採光は確保出来る。他施設との距離も取りやすい。 評価 △	採光は確保可能だが、こどもCが同一棟のため、利用法に検討が必要。スプリンクラーの設置が必要。 評価 △	正方形に近い形状だが、別棟での建設のため中庭等を設置することで採光は確保出来る。他施設との距離も取りやすい。 評価 ○	採光は確保可能だが、こどもセンターと同一棟のため、利用法に検討が必要。スプリンクラーの設置が必要。 評価 △
総合評価	各棟の配置は理想的。こどもCが2階建てでかつエリア3での建設のため基礎構造が不利となる。 14点	各棟の配置は理想的。こどもCがエリア3に配置となり、2階建てであるため不利である。 14点	校舎棟が西側配置で日影が懸念されるが、各棟の間隔が取りやすく緩和可能。こどもCはエリア3、6にかかるが平屋建てで建設可能。 16点	こどもCは平屋建てでエリア3のみでの配置が可能だが東西に長く、校舎棟と一体となり、消防法上不利である。 14点
計画案	E案 (体育館：敷地中央北側・こどもセンター平屋建て)	F案 (体育館：敷地中央・こどもセンター平屋建て)	G案 (体育館：敷地西校舎一体・こどもセンター平屋)	
配置計画				
特徴	体育館は敷地中央北側に配置。校舎は敷地西側に配置。こどもセンターは平屋建てで東側に配置。	体育館は敷地北側に配置。校舎は敷地西側に配置。こどもセンターは平屋建てで西側に配置。	体育館は敷地西側に配置し校舎と一体で配置する。こどもセンターは平屋建てで東側に配置。	
土砂災害危険区域に対する比較	全ての建物が土砂災害危険区域外となっている。 評価 ○	全ての建物が土砂災害危険区域外となっている。 評価 ○	全ての建物が土砂災害危険区域外となっている。 評価 ○	
地盤特性上の比較	重量施設（体育館、校舎）がエリア1、2で有利。軽量施設（こどもC）は不利地盤エリア3、4に建設。（平屋建てのためA、B案に有利） 評価 ○	重量施設（体育館）はエリア2に配置されるが、校舎はエリア3に配置であり、基礎選定で不利。 評価 △	重量施設（体育館、校舎）がエリア1、2で有利。軽量施設（こどもC）がエリア2、3にまたがり不利（平屋建てのためA、B案に有利） 評価 △	
法規上（消防法）の比較	各棟は別棟であるため消防法の適用（特にスプリンクラー）の設置は不要。 評価 ○	各棟は別棟であるため消防法の適用（特にスプリンクラー）の設置は不要。 評価 ○	各棟は別棟であるため消防法の適用（特にスプリンクラー）の設置は不要。 評価 ○	
配置計画に対して比較①（体育館の位置）	敷地中央配置だが長軸は南北であり、他案と比較し隣地への影響は少ない。施設群の中央であり、利便性は高い。 評価 ○	敷地中央配置だが長軸は東西であり、北側への影響が懸念される。 評価 △	北側配置のため、施設側への日影の影響はない。長軸は東西ではあるため、北側道路への影響は大きい。 評価 △	
配置計画に対して比較②（こどもセンターの位置）	エリア3、6にまたがるが平屋建てにすることで緩和可能。南側に配置する事で北側に駐車スペースの確保が可能。 評価 ○	平屋建てでエリア1に配置で有利だが土砂災害危険区域に近接する。西側配置のため送迎動線が長く駐車場の確保で不利。 評価 △	東側に配置。平屋建てであり、東西に長くなるが北側に駐車スペースの確保は可能。 評価 ○	
配置平面計画に対して比較（義務教育学校）	正方形に近い形状だが、別棟での建設のため中庭等を設置することで採光は確保出来る。他施設との距離も取りやすい。 評価 ○	正方形に近い形状だが、別棟での建設のため中庭等を設置することで採光は確保出来る。地盤で不利なエリアでの建設となる。 評価 △	体育館との一体的な整備のため、中庭の確保が困難。体育館が発生する音の問題等が懸念される。 評価 △	
総合評価	各棟は分散して配置するため、日影の影響は緩和される。こどもCが一部エリア6に及ぶことが懸念される。 18点	校舎棟がエリア3に配置され基礎の過大化が懸念される。またこどもCの送迎動線が長く、他案と比較し不利である。 14点	体育館と校舎棟の一体化により採光が片側から取れないことによる建設不可能の場合がある。体育館と校舎で混構造となり大幅なコスト上昇の恐れがある。 15点	

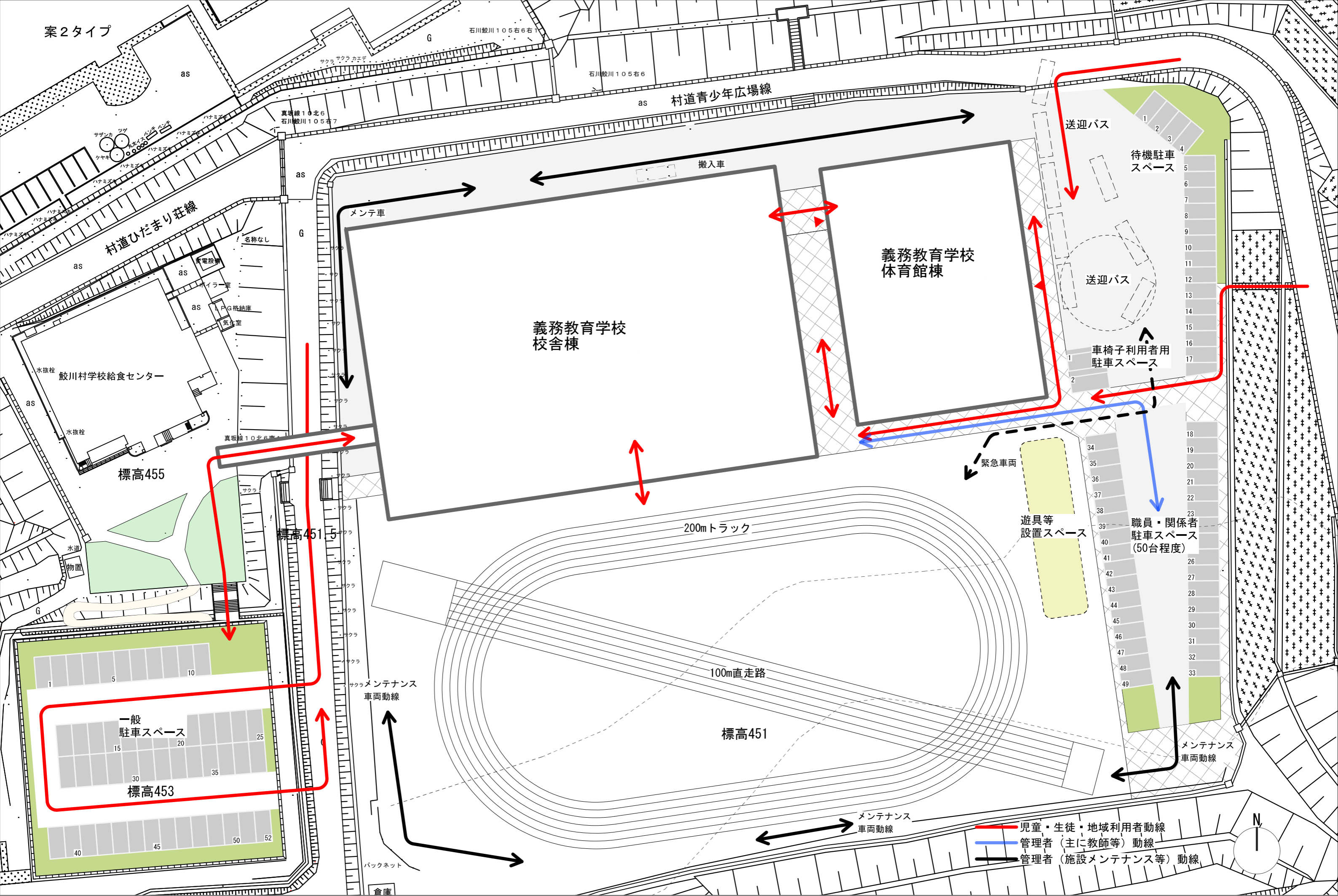


- 児童・生徒・地域利用者動線
- 管理者（主に教師等）動線
- 管理者（施設メンテナンス等）動線

配置計画図 1:500



案2タイプ



- 児童・生徒・地域利用者動線
- 管理者（主に教師等）動線
- 管理者（施設メンテナンス等）動線

